

平成25年5月31日
水産庁

水産物の市況について（平成25年5月及び6月）

—東京都中央卸売市場における平成25年5月（平成25年4月21日～5月20日集計）の市況と、
平成25年6月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成25年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は北部太平洋海域）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケがやや増加するものの、全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は端境期であることから、前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は端境期を脱し、前月と比べ大幅な増加が見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量はやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼沿岸、山陰沿岸、九州西方海域。）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は赤身類、脂身類ともに前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月並と見込まれ、需要も落ち着いてくることもあり、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	5 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
25年	46	796	53	800	41	820
前年	41	810	46	846	39	831

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	5 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	336	89	102	76
さけ・ます（平均）	543	96	92	88
（ぎんざけ塩蔵品）	575	100	93	87
（あきさけ塩蔵品）	428	100	90	91
（ときさけ塩蔵品）	601	100	65	75
（べにざけ塩蔵品）	825	100	113	104
（さけ類冷凍品）	525	100	99	91
さば（生鮮品）	393	101	125	109
するめいか（平均）	477	95	103	99
（生鮮品）	511	74	85	80
（冷凍品）	432	100	120	123
あじ（生鮮品）	693	101	133	136
まぐろ（冷凍品）	1,195	100	85	83
（めばち冷凍品）	853	102	85	85
（きはだ冷凍品）	804	104	83	88
（くろまぐろ冷凍品）	3,581	102	89	97
（みなみまぐろ冷凍品）	2,549	118	102	108
かつお（生鮮品）	846	93	107	78

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：5月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、庄田、安井

直通 03-3591-5612